

せいらんそう

第48号
2020.7



事業所トピックス 青嵐荘療護園より (P7掲載)

Contents

- P 2 令和2年度、新たな管理職からの抱負
- P 3 実務者研修二年度目の開講と受講者状況について
- P 4—5 芳香会 新任職員紹介
- P 6 衛生委員会について
- P 7 事業所トピックス
- P 8 芳香会活動報告
芳香会スケジュール
編集後記



事業所トピックス 結城デイより (P7掲載)



令和二年度、新たな管理職からの抱負

この度、青嵐荘療護園への異動に伴い副施設長を拝命いたしました。

管理職という大役を任せられ、まさに「身の引き締まる思い」で一杯ですが、それと同時に、長きにわたり介護および相談業務に従事してきて繋がり深い療護園の一員として、再び勤務できることが本当に嬉しいです。

今後は、施設経営および組織運営に対し高い意識を持つと共に、

ご利用者支援、職員育成等を巡り、管理職という立場からこれまで以上に広い視野をもって取り組んでいかなければならないと思っております。

また、就任時の気持ちをお忘れず、日々誠実に仕事に励むつもりでありますので、どうかご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。(療護園 大塚副施設長)



芳香会へ入職し十五年目となります。始めは青嵐荘ケア・アシスタンスの事務員として業務を行いました。平成二十四年六月より現在の青嵐荘療護園で庶務全般の業務を遂行しております。療護園へ異動した当初、フィリピンEPA

候補生の対応に加えて施設の改築工事を担当させていただきました。どちらも初めての経験で、苦労もありましたが大変有意義な経験をさせていただきました。

これまでの経験を活かすために、平成二十九年より外国人留学生の育成を開始し、継続的に施設で受入れを実施しております。外国人雇用の施策はここ数年で激

変し、在留資格制度や宗教の理解など覚えることもたくさんありますが、今後も世界貢献のために頑張っていきたいと思っております。(療護園 土堂課長)

芳香会に相談員として入職して十数年、この間素晴らしい環境とたくさんの方々のサポートのおかげで成長することができました。また、常にご指導頂いた上司と心強い同僚の存在があったからこそ、今の自分が在ると感謝しています。

今年度、青嵐荘ケア・アシスタンスの統括課長を拝命し施設の運営や経営、職員育成・管理、職場環境の設定など、自らの果たすべき役割や職責の重さを認識していきます。学ぶべきことは多いですが、例えば失敗しても前を向いて進めるよう、自分らしさも大切に、成長を続けたいと思います。

何より、今度は私が職員へ素晴らしい環境とたくさんの方々のサポートを与えられるよう、そしてご利用者、地域の皆さまに心のこもった質の高いサービスが提供できるように、力不足ではありますが精一杯努めてまいります。(ケア 加藤統括課長)



この度、課長を拝命いたしました。青嵐荘つくし園の吉田です。私は、芳香会の奨学金制度を利用して頂き、理学療法士の資格を得てから、多くの方々に支えられました。これまでの業務に就くことができました。今回の人事で要職を担う事となり、感謝と責任感をひしひしと感じています。

これまでとは違い、責任を持つべき範囲が大きく変わったことや、日々変化する多様な事に、迅速に対応することなど戸惑う事が多くあります。全体を捉える視点を持つ事と、マネジメント力、コミュニケーション力などが重要であると感じております。一人では

できない事をみんなで補い合いながら、ご利用者が安心した生活を送れるように、今後も邁進して参りたいと思っております。(つくし園 吉田課長)

※写真中央

※写真中央

※写真中央

※写真中央



新型コロナウイルスに負けるな！

各施設で取り組んでいる感染拡大防止策の一部をご紹介します。今後も新しい生活様式を取り入れ、感染拡大防止に努めていきます。

各施設の取り組み

高

ご利用者様も一緒に

ご利用者様と一緒に布マスクの作成を行っています。

ご利用者様は職員と一緒に布を選び、マスクのヒモ通しと袋詰め作業を行っています。マスクは法人内の施設で販売し、売り上げは野菜や花の苗の購入費の一部にあてています。カラフルな柄で『可愛い』と好評です。



障

アイテムを使って

ご利用者様の活動の際、飛沫防止のためパーテーションを利用したり、職員はフェイスシールドを着用して援助にあたっています。また、ポリ袋を使い職員用の手作りガウンを作成しました。作り方も難しくなく、短時間で完成します。



保

視覚的にわかりやすく

① 食事の工夫

対面にならないようテーブルにシールを貼っています。また、食後の歯磨きも飛沫防止でうがいに変更しました。

② ペープサートを使って

看護師から子どもたちへ感染予防対策の話をしました。また、どのくらい飛沫が飛ぶかクイズも行いました。



高

…高齢者施設

障

…障害者施設

保

…保育園



芳香会 新任職員紹介

芳香会では今年度十名の新任職員を迎えました。今号では新任職員に意気込みや目標を伺いました。

高

「1年目の意気込み」

栗原介議員（青嵐荘特別養護老人ホーム）

私の1年目の意気込みは3つあります。

1つ目は仕事を早く覚える事です。働き始めて約3ヶ月経ちましたが、私一人では出来る事が限られてしまっているため、早く仕事を覚え、独り立ちが出来るように頑張りたいです。

2つ目はご利用者との信頼関係を築く事です。ご利用者の性格や過去等を知って少しでも信頼関係を築けるよう頑張りたいです。

3つ目は体調管理に気をつける事です。私たちにとっては軽度の風邪であってもご利用者へうつってしまった場合、重度になってしまう事もあります。そうならない為にも私自身、体調管理には十分気をつけていきたいです。



保

「保育士になって」

神保非常勤保育士（たま保育園）

4月から1年目をスタートして2ヶ月が経ちました。子どもたちと関わることは楽しくて、成長を見られた時には喜びを感じます。そして、保育士の子どもへの関わりが子どもの気持ちや発達に影響を与えるので、保育士の役割の重要性をさらに感じました。

私は子どもの気持ちに寄り添える保育士になりたいと考えています。そのために、子どもの目線に立ち、子どもの発した言葉に耳を傾けて気持ちを考えていきたいです。

まだまだ未熟者ですが、精一杯頑張りますので、宜しくお願い致します。



保

「一年目の保育士として」

横山保育士（牛ヶ谷保育園）

私は、今年の四月に牛ヶ谷保育園の保育士として働き始めて二ヶ月が経ちました。四月の頃と比べて段々と慣れてきていると感じますが、不安なことまだまだあります。ですが、先輩方が熱心に優しく教えてくださるため頑張ろうという気持ちになり、毎日楽しく仕事させていただいています。一年目は子どもと深く関わっていき、子どもの気持ちに寄り添っていくことを目標に頑張っていきたいと思えます。また、様々な職種の方々と連携を取り良い保育を行っていきけるように日々精進していきたいと思えます。



保

「1年目に頑張りたいこと」

齋藤非常勤保育士アシスタント（牛ヶ谷保育園）

私は、保育士アシスタントとして1年目に頑張りたいことが2つあります。

1つ目は、子どもたちについてよく知ることです。子どもの名前や顔はもちろんですが性格などの内面を知り、その子どもにあった声掛け方法などを身につけていきたいです。

2つ目は、子どもの視点に合わせてコミュニケーションをとることです。子どもの目線と同じ高さで、笑顔でコミュニケーションをとれるようにしていきたいです。



障

「私の目標」

川又生活支援員（青嵐荘療護園）

私の目標は、笑顔で利用者の想いに寄り添って支援をすることです。

そのためには、施設での一日の流れや業務内容を理解し、積極的に行動することができるよう頑張りたいです。また、個々の利用者の状態に応じた安全で安心な介助方法を理解し、実施したいです。但し、私は日本語がまだ上手くできないので利用者には分かりにくい部分もあると思いますが、職員の皆様の指導を受けながら利用者と一緒に上手にコミュニケーションをとりたいです。まだ分からない事が沢山あり、迷惑をかけるかもしれませんが、精一杯頑張りますので、宜しくお願い致します。



障**「1年目をスタートして」 北村看護学生（芳香会病院青嵐荘療育園）**

4月から看護学生として、芳香会病院青嵐荘療育園の一員となり、約2ヶ月が過ぎました。今年は新型コロナウイルスの影響もあり、学校開始が延期となり、学業に対する不安もたくさんありますが、人の気持ちを考えて行動することができる看護師を目指して勉学に励みたいです。

また、初めて経験することもたくさんあり、皆さんにご迷惑をおかけしてしまうことがあると思いますが、少しでも早く仕事に慣れ、利用者様やご家族に安心して頂けるよう精いっぱい頑張ります。よろしくお願いします。

**障****「1年間の抱負」 櫻井准看護学生（芳香会病院青嵐荘療育園）**

私が頑張りたいことは2つあります。

1つ目は准看護師になるまでに利用者様の特徴を知り、介助方法を学ぶことです。介助を行っていく中で、利用者様の仕草や癖などの特徴を知り、安心・安全な介助を行っていけるよう頑張っていきたいと思います。また、利用者様に信頼されるような声掛けや介助を行っていきたいと思います。

2つ目は准看護学生として看護について詳しく知り、技術について学ぶことです。准看護師になるためには、病気や薬のことを把握しておく必要や、看護技術について知る必要があるため、先生の話をよく聞き基礎看護等を学んでいきたいです。また学んでいく中で安心・安全を目指し、技術を学んでいきたいと思っています。

**高****「専門職として働く」 新井介護員（青嵐荘ケア・アシスタンス）**

1年目をスタートして私の目標は専門職としての仕事をしていくことです。介護の仕事は介護を行う側の知識や技術不足でご利用者の負担になる可能性があります。その為、ご利用者一人一人の身体状況や認知状況を把握した介護を行い、専門職として安心・安全なサービス提供が出来るように努めたいです。また、介護に対する「きつい、汚い、危険」の3Kというイメージも変えていきたいと思っています。介護の仕事にはご利用者からの「感謝」があることや支援が上手くいったときの「感動」があること、そして「幸福」になれることの3Kだと私は思っています。この考えが少しでも多くの方に理解される社会になるよう、介護の仕事に携わっていきたくです。

**障****「これからの目標」 田中生活支援員（青嵐荘つくし園）**

令和2年4月1日付けで入職し、早2ヶ月が過ぎました。入職当時は緊張のなかで、仕事をしていましたが、ご利用者や先輩職員から、優しい言葉をかけて頂き、今では緊張もほぐれ、楽しく過ごしています。

私は利用者支援をする中で、安心安全な介助が大切だと考えています。基本的な知識をより深く理解する為にも業務内容やご利用者に合わせた介助方法を理解し、習得できるよう努力していきたいと思っています。ご利用者が笑顔で過ごせるように、今後も頑張っていきたいと思っています。まだまだ分からない事もあり、ご利用者の皆様にはご迷惑をお掛けすると思いますが、精一杯頑張りますので宜しくお願い致します。

**高**

…高齢者施設

障

…障害者施設

保

…保育園

障**「1年目をスタートして」 柳沢理学療法士（青嵐荘つくし園）**

4月から新人研修が始まり、生活課での現場実習を1か月させていただきました。その中で、利用者様とのコミュニケーションや生活の様子、身体状況などを学ばせていただきました。この知識を活かして利用者様が健康で楽しく、それぞれが目標としていることを達成できるように努めていきたいと思っています。まだまだ、知識や技術が足りずご迷惑をおかけしてしまうことがありますが、自分自身の目標を持ち、1日1日を大切に成長していきたいと思っています。そして、利用者様や職員の皆様から、必要とされる理学療法士になれるように頑張ります。



衛生委員会とは

衛生委員会の目的と役割

当法人では現在五つの事業所が衛生委員会を設置しています。

常時使用する労働者が五十人以上の事業所には労働安全衛生法第十八条により、衛生委員会の設置が義務付けられています。労使が一体となつて労働者の危険や健康障害の防止、健康の保持増進の為の対策を講じることが目的です。一方、五十人未満の事業所には衛生委員会の設置義務はありませんが、労働安全衛生規則第二十三条の二により、関係労働者の意見を聞くための機会を設けなければなりません。職場における安全衛生は、それだけ重要だと考えられていることが分かります。

衛生委員会は、事業者が指名する次の委員で構成されています。①総括安全衛生管理者または事業場における事業の統括管理者もしくはこれに準ずる者②衛生管理者③産業医④労働者のうち衛生に関する経験を持つ者です。これらの方々の活動ですが、簡潔に言えば事業場の衛生環境や労働者の健康保持に関するあらゆる問題について調査審議を行い、その報告や事業者に対する意見を述べるのが衛生委員会です。まさに労働者の安全と健康の確保の為の役割を担っています。

(法人本部 西村)

働きやすい職場を目指して

青嵐荘ケア・アシスタンスの衛生委員会は職員数が常時五十名を超えたため、平成十三年から労働基準監督署に届け出を行って活動してまいりました。

発足当初の活動は、職員の疾病予防や環境整備、職場の危険箇所のアンケート等を実施し、職員の健康管理や職場の安全確保を中心に行っていました。その後平成二十五年六月に厚生労働省から出された腰痛予防対策指針に基づき、リハビリ職員と共同した腰痛予防対策に力を注ぎ活動し、実際に腰痛保持者数の減少といった実績を出すことが出来ました。また平成二十七年十二月からはストレスチェック制度が義務化され、当施設も職員のメンタルヘルスを重要視し、チェックを利用した職員へのアプローチを行っています。その他、EPA制度により外国人労働者を受け入れることとなり、文化や習慣の違いが事故や災害に結びつかないよう、丁寧でわかりやすい指導等を行うことも取り組むなど、幅広い活動を行っています。

当事業所の衛生委員会の活動目標は「働きたくなる職場の創造」です。このキーワードをもとに、今後も新たにハラスメント対策を含め積極的に委員会活動に取り組んでいきます。

(ケア 加藤)

衛生委員会の取り組み

よりよい職場づくりを目指して

青嵐荘路のとう舎では職員五十人以上の事業所に設置義務のある、衛生委員会を今年度より立ち上げました。衛生委員会の目的には職員の衛生管理と健康の保持増進、快適な職場環境の確立が目的となっております。

衛生管理と一言で申しても、職場内には多くの分野が衛生管理に関係し、衛生委員がその分野の専門家になる事は非常に困難です。職場にとって必要な取り組みかどうか的確に判断し、現場の実態を把握し、職員や外部の専門家の意見を融合させながら、職場の環境を改善していくことで、職場にも職員にとっても大きな効果が期待できます。

ただし、職員が働きやすい職場作りのみ行うわけにはいかず、施設にはご利用者が生活されております。ご利用者の安心・安全な生活が前提にあり、その中でいかに職員の衛生を保ち、働きやすい職場を作ることが出来るのか。近年、目の前の事象の整理(ハード面)で済む問題だけではなく、職員が抱えるストレスや悩みなどのメンタルヘルスへの対応も必要となってきました。本当に働きやすい職場とは何か、組織として持続可能な運営方法はどのような形なのかを日々模索しながら、安全衛生活動の推進を図っていきたくと考えています。

(路のとう舎 石田)



「個々に頑張る！個別活動」

結城デイ

「二〇二〇年度は、新型コロナウイルスの対応で幕を開けました。

常日頃から感染症対策に取り組んできていたことが今回のウイルスに対しては、新たに対策を講じる必要があり、通所するデイサービスでは予防策の対応に加え、外部ボランティアを含め三密（密集、密接、密閉）を避けるため、大勢で行うイベントやレク活動なども自粛することに伴い、新しい活動を導入することが必要となりました。

そこで、スタッフ全員で何ができるかを模索し認知症予防やリハビリに繋がられる個別で取り組める活動について考えていきました。

ご利用者が個々で取り組めるものを「テーマ」に、自分たちが子供の頃に夢中になって遊んだゲームや玩具など、昭和を感じさせるアイテムを準備させていただき、いざ活動を始めてみるとみなさん予想以上に集中して楽しんでいただけっております。

以前から取り組みながらも、なかなか形にならなかった個別の活動でしたが、ウイルスの対応策を講じる中で実を結ぶ結果となりました。これからも様々な対策を継続して行っていくことになりましたが、その中で生まれた新しい活動も継続し、これからもご利用者個々でも楽しく取り組める活動メニュー作りを進めていきたいと思います。（藤本）



「インスタグラムはじめました」

青嵐荘療護園



青嵐荘療護園ではフェイスブックを通してご利用者の日常生活や社会貢献活動の成果などを紹介しておりましたが、新たな閲覧者を獲得しにくいといった課題

があり、情報発信の在り方を再考してまいりました。そして、今年度より発足した「広報委員会」のメンバーで協議を重ねた結果、様々な取り組みや情報を写真中心のよりカジュアルなスタイルで発信したいとの結論に至り、新たにインスタグラムを開設する事となりました。

管理・運用は同委員会のメンバーで特にICTに精通したスタッフが担当しております。この記事を執筆している時点で「フォロワー」は八〇〇人を超え、想像以上の反響にただただ驚くばかりです。また、「いいね！」を押して下さった皆様を拝見すると、福祉事業所の方々がとても多い事が分かります（北は北海道から南は鹿児島県まで！）。

まだまだ試行錯誤の段階ですが、コロナ禍に負けず元気に過ごしておられるご利用者と日々奮闘する職員の様子をリアルタイムで配信したいと思います。なお、投稿はフェイスブックにも連動しておりますので、お好きなサービスでご覧下さい。たくさん「いいね！」をお待ちしております。（高橋）



「学び・成長の機会に」

みのりホーム



新型コロナウイルスは私たちの生活に大きな影響を与えました。芳春のいえ・輝希のいえでも外泊・面会・買い物自粛や四月下旬～五月中旬にかけての日中活動事業所休止などにより、グループホームで過ごす時間が増えました。今まで行っていた定期的な外泊等が急になくなることは入居者の方にとって大きなことです。この期間をどのように過ごしていただくかを考えながら取り組んでいます。

一緒にいる時間が増えた分、一人一人の思いに寄り添い、細やかにみるよう心掛けています。なぜ出かけられないのかを繰り返して丁寧に伝え、表情や様子等をみながら関わっています。入居者の方も始めは週末になるとそれぞれわたりしていましたが、徐々に自分の中で気持ち切り替えてきたように思います。また期間中は、野菜栽培や洗濯物干し・食堂など共有スペースの清掃・作品作り等を行ってききました。

コロナウイルスによる生活の変化に対応することは大変です。しかしこの自粛期間を通して入居者の方が、色々なことを学び、成長する機会になっていっているのではないかと感じております。

まだまだ気を抜けません。日々の生活が豊かになるよう、また今後に繋がられるようこれからも取り組んでいきたいと思います。（為我井）



芳香会活動報告

結城市七五三場地区 防災協定を締結しました。



二〇二〇年三月二十九日付で結城市七五三場自治会と芳香会が災害時における対応に関する協定を締結しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、調印式は断念しましたが、四月十四日法人本部にて報告会と写真撮影を行いました。今後も地域の方と協力しながら活動していきたいと思えます。また、茨城新聞より取材があり、四月二十一日付の茨城新聞で報告会の様子が紹介されました。

託児所ひばり再オープン！

今年四月より、上大野地区に託児所ひばりが再オープンしました。芳香会職員のお子様はもちろん、外部のお子様のお預かりも可能です。是非、ご利用ください。



[託児所ひばり (外部)]

開園日 : 月曜日～土曜日
 開園時間 : 8:30～17:30
 対象年齢 : 0歳児～就学前
 保育料 : 日額 1,600円
 半日 (4H) 800円
 昼食代 : 1食 350円 (おやつ込)
 教材費 : 月額500円※
 ※教材費は週1日以上、または月4日以上の利用があった場合請求。
 お問い合わせ : 芳香会法人本部
 ☎ 0280-97-1027
 ✉ honbu@houkoukai.or.jp

芳香会スケジュール

- 9月中旬 第1回事務員学習会
- 9月26日 第3回 障害者福祉セミナー
- 10月上旬 交通安全講習会
- 11月上旬 法人内ヒアリング
- 11月7日 理事会
- 11月21日 評議員会
- 11月下旬 移動献血事業



マスク等のご寄付をいただきました。

【不織布マスク】

NPO法人抱樸様、北つくば農協葬祭(株)様、株式会社カナミックネットワーク様、株式会社ロングライフ様、アビリティーズケアネットワーク株式会社様、有限会社森ファームサービス様、茨城県障害福祉課様、古河市障害福祉課様、古河市高齢介護課様、古河市子ども福祉課様、結城市様、川面愛美様

療護園・ケア・アシスタンス・たま保育園ご家族様

【布マスク・ガーゼマスク】茨城県障害福祉課様、療護園ご家族様

【次亜塩素酸水2ℓ】牛ヶ谷保育園ご家族様

【フェイスシールド】

京三電機様 (古河市を通していただきました。)

【エンボス手袋】川面愛美様

大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

編集後記

新型コロナウイルスの発生から半年を迎えようとしています。今までの仕事の仕方を再考し新たな仕事の仕方への変革の機会にもなりました。特に時間の使い方や会議の在り方においてはこれからも同じ形態を維持して行こうと考えています。(光)

私の出身地である山形県には、冷やしラーメンという文化があります。この影響から最近の山形県では、冷やしマスクが自動販売機で発売され、売れ行きは好調なようです。仕組みは、両頬にあたる内側のポケットに保冷剤を入れるだけです。文化から学べること、発想が広がりますね。(剛)

今年度より新たな編集委員として加わりました。芳香会の取り組みや様々な事業所の活動などご紹介していきたいと思えます。また、今年度は芳香会五〇周年の記念すべき年なので盛り上げていきたいと思えます！どうぞよろしくお願いいたします。(礼)

先日、八月末でとしまえんが閉園とのニュースがありました。私の実家から自転車で行ける距離にあり、長期休みには毎日のように遊びに行っていました。家族や友達との思い出がいっぱい詰まった場所が無くなるのは寂しいです。これも時代の流れなのかなと感傷に浸っています。(麻)



社会福祉法人 芳香会

発行責任者/法人事務局 編集/会報誌作成委員会

〒306-0201 茨城県古河市上大野698

TEL 0280-97-1027 (代) FAX 0280-97-1112

ホームページ <http://www.houkoukai.or.jp> メールアドレス honbu@houkoukai.or.jp

※写真等の個人情報は、ご本人の同意を得て、掲載させていただいております。